

Liscicul Network

News Letter

No. 11 (2025.4)



Contents

- 理事長ご挨拶 早川あけみ 2
- 新評議員就任ご挨拶 野々部典枝 3
- アカデミア講座より . . 眼科医療におけるイノベーション . . 野々部典枝 3-4
個人税金～所得税及び相続税 . . . 今泉康代 4-5
- 会員の皆様に伝えたい ～ライサメッセージ～
生命科学と茶道文化の創造 山根正人 5-6
- LiSciCul Café 「私と趣味」 地元愛 竹内正行 6-7
- ライサ文化研究会（俳句・川柳・短歌） 3名 7-8
- 編集後記 鈴木治彦 8

理事長ご挨拶

一般社団法人生命科学文化推進機構
理事長 早川あけみ

僭越ではございますが当機構を代表して会員の皆様にご挨拶申し上げます。

この度は幸いにも生命科学文化推進機構のニューズレター第11号を発刊する事が出来き、寄稿を頂いた先生方並びに関係者の皆様に心より感謝いたします。

昨年来より、海外では不条理な混沌とした悲惨な情勢の映像に心が痛み早期の収束を願うばかりです。

一方、国内に目を向ければ、団塊世代が後期高齢者を迎え、医療（感染症・薬品不足）や介護の課題が山積しています。

さらに地球温暖化や長期化する物価高騰の影響で消費者の購買力が低下する中、安定した暮らしや企業活動を支える為には各行政機関の施策が必須と痛感しています。

このような不透明な時代に、改めて恩師の書籍を読み返し長年に及び大学で教育と研究に従事した経験を踏まえこの書籍に述べられた物の見方・考え方について、その一部を紹介いたします。

『主に科学的技術における内容とした箇所に
(1) 先入観を棄てること (2) 異なった

角度から物を見、考えること (3) 一つの事実に対し、矛盾対立した二つの心理が考えられる場合の解決とあります。要約すれば既成概念をもっていることは、往々にして人の創造性を妨害する。更に物を見る方向を変え、異なった立場で物を見ることは新しい発見を促す有効な方法である』と書かれています。

従来から研究は実験結果を鑑み、エビデンスとなる論文を目標に取りかかりましたが、これを機に恩師の「物の見方・考え方」をより深く考察する事に意味があると認識しました。

「継続は力なり」を心に秘め、未来の可能性に駆ける想いで、ライサの皆様にお力添えを頂きながら、社会貢献を目指すために精進したく存じます。

本年も何卒、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

令和7年2月吉日



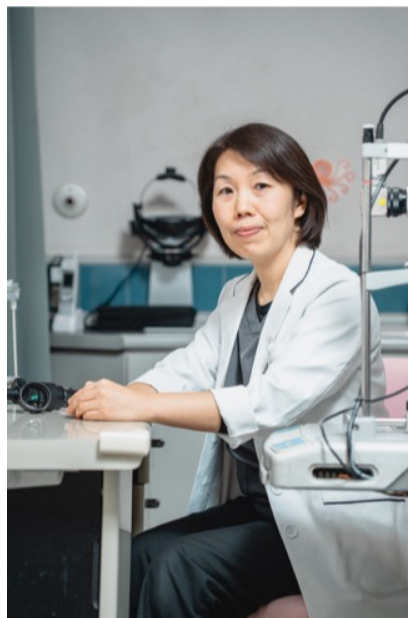
—*

「新評議員就任ご挨拶」

医療法人惇成会 いたう眼科 理事長/ 浜松医科大学 野々部典枝

このたび、生命科学文化推進機構（ライサ）の評議員に就任いたしました野々部と申します。私は、長く名古屋大学医学部附属病院にて眼科医として小児網膜疾患の臨床研究と内眼手術に携わってまいりました。そこでライサの理事長である早川先生との出会いがあり、ライサの活動を知りました。小児の視機能の発達には中枢の成長発達とも密接なかわりがあり、眼を手術して終わりではなく、その後の視能訓練をはじめとして児の総合的な成長にさまざまな働きかけを行っていく必要があります。もちろん児の家族をはじめとする周囲の人々にも正しい情報の共有が必要です。医学・薬学のみならず、哲学・心理学・芸術学の分野においても研究成果を人々のより良い健康と福祉につなげていくというライサの活動理念は、まさに私が小児眼科医として目指していることでもあります。微力

ながら、これから皆様と一緒にライサの活動に貢献できればと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



--



第8回ライサアカデミア講座を終えて

「眼科医療におけるイノベーション」

当法人評議員

医療法人惇成会 いたう眼科 院長 野々部典枝

眼科医療における近年の革新的な出来事を大きく二つの分野にわけて紹介しました。

1. 近視の最新知見

世界的に近視人口の増加が問題となっており、2050年には世界の人口の約半数である40億人が近視になると試算されています。近視は緑内障や網膜剥離など失明につながる疾患の発症リスクを上昇（オッズ比は弱度近視で緑内障は2倍、網膜剥離は3倍、強度近視では緑内障は3倍、網膜剥離は13倍）させ、高齢期の視覚障害者が増加する懸念があります。小児期から近視を進行させないための取り組みが重要であり、日本でも眼

科医会が近視の進行予防対策として様々な啓発活動（ギガっこデジタンなど）を行っています。令和3年度から文部科学省が「児童生徒の近視実態調査」を開始しており、この解析結果をもとに今後近視予防対策が全国的に普及することが期待されています。本講演後に、近視の進行抑制治療を目的とする低濃度アトロピン点眼液が2024年12月27日付で製造販売承認を取得したことを追記しておきます。

2. 画像診断機器の進歩と抗VEGF療法

光干渉断層計(Optical Coherence Tomography ; OCT)の登場は眼科の外来診察

を一変させました。わずか数秒の撮影で非侵襲的に網膜の層別構造を描出できるようになり、なぜ視力がでないのか検眼鏡ではわからなかった所見が明瞭になり、さまざまな疾患の病態の理解がすすみました。日本人に多い緑内障も、視野に異常がでる前の段階で視神経繊維の菲薄化をとらえることが可能で、早期に治療開始することができます。広角眼底カメラでは周辺部まで一枚の画像で確認できるため、熟練を要した眼底周辺部の観察が容

易になりました。加齢黄斑変性や糖尿病黄斑浮腫は血管内皮増殖因子（Vascular Endothelial Growth Factor ; VEGF）が深く関わっており、近年抗 VEGF 薬の硝子体注射が普及していますが、その治療効果についても OCT や OCT Angiography によって外来で簡単に繰り返し判定できるため、治療間隔の決定などに非常に役立ち視機能維持に貢献しています。

「個人の税金～基本的な仕組みと申告・節税 所得税及び相続税」

当法人評議員
税理士 今泉康代

第8回アカデミア講座にて、税金の中でも個人に係わる所得税及び相続税について、簡単に計算方法をご説明させて頂きました。

<所得税>

$(\text{所得の金額} - \text{所得控除}) \times \text{税率} - \text{税額控除} = \text{所得税額}$

特定口座(株式等)を源泉徴収口座で所有している場合

- 譲渡益がでている場合は、確定申告に含めない方が良い。
- 譲渡損がでている場合は、確定申告をすると譲渡損を繰り越すことができるが、所得控除や税額控除にも影響する為、申告をするか否かは慎重に判定が必要

医療費控除

見落とししやすい医療費：自由診療の歯の治療費や子供の歯科矯正など ※一般的に支出される水準を著しく超える場合はNG

扶養控除等

その年12月31日の現況で判定するが、対象者が年の中途で死亡した場合には死亡時で判定（扶養していた親が年の中途で死亡しても扶養控除の対象）

<相続税>

相続税申告が必要な場合：

$(\text{相続財産} - \text{債務} \cdot \text{葬式費用}) > \text{基礎控除額}$
※基礎控除額
 $= 3000\text{万円} + (600\text{万円} \times \text{法定相続人の数})$

※法定相続人：配偶者+①子（①がいない場合は②直系尊属、①②がいない場合は兄弟）

相続税の申告・納税
期限：原則として死亡日の翌月から10ヶ月目の日（例）1月6日に死亡した場合には、11月6日が期限

相続税が課される財産：被相続人(死亡者)が無くなった時点において所有していた財産

死亡に伴い支払われる保険金・退職金 ※一定の金額までは非課税

死亡日前3年以内に行われた贈与財産

相続財産から控除できる債務・葬式費用

債務：被相続人に支払義務があったが死亡時において未払いのもの（借金・税金等）

葬式費用：通夜・葬式費用 ※墓の購入代は該当しない

相続対策

まずは①法定相続人の確認 ②相続財産の確認 が必要。

所有している財産や相続人の種類・人数により対策が変わり、且つ、相続税法も毎年のように改正がある為、対策をしても将来意味をなさなくなることも頻繁にある。



※「相続時精算課税」等の特例を受けることにより節税となる場合があるが、節税とならない場合もあるので判定が必要

従って、将来的に一番確実な相続税対策は、「生前贈与」により、財産を先に減らすこと

※贈与税の非課税枠にとらわれず、相続税より低い税率となる金額の範囲内での贈与も節税となる。

尚、相続により財産を取得しても課税されない、ライサのような一般社団法人等への遺言による相続も節税となる。(法定相続人でない人・会社への相続は遺言が必要)



会員の皆様に伝えたい

～ライサメッセージ～

「生命科学と茶道文化の創造」

当法人理事

住職 山根 正人

私は若い頃から茶之湯における各流派での修学を経て、現在蓮華院茶道会を主宰している。我が国における茶道の歴史は、室町期より諸侯貴族による権勢誇示の手段として始まり、それぞれの時代において様式と習慣の変遷を遂げながら、一方で桃山期に於ける村田珠光、武野紹鷗、そして千利休居士などが仏教における禅思想の具現化という、いわゆる「わびさび」に代表される美学表現の役割も担いながら現代へと継承されてきた。この時代に至っては、そうした過去の伝統を踏まえながらも、真の意味で茶之湯に関わる人々自身の美意識によって新たな境智を見出し、再構成し、本質論として人の生涯へより奥深い道を開く、茶の湯文化を創造していく時代を迎えているといえよう。そこで我々の取り組みは言うまでもなく、過去の叡知と現在の生命科学に証明される普遍法理に基づいた茶道文化の創造を目指している。

現代科学における生命活動を解析する、量子物理学の進化は著しい。超弦理論、一元性理論など華々しい展開を見せている。また一方で、4500年に及ぶインド思想の精華として結実した大乘仏教の普遍論理観より眺めると、それらの最先端科学から放たれている提

案にあまりにも多くの相似性を見出すことが出来る。こうなると科学者は時代を先取りしながら、いにしへの先人が築いてきた過去の英智に鋭い視点を照射し、推論を展開し、先端科学によって証明するという研究過程が常識になっているのかと思われるほどだ。

こうした現代科学の発展史を垣間見てみると 古代より人類の哲学史が辿ってきた道そのものであるといえよう。端的に表現すると、相対世界の時空間における縁起の解明から絶対世界における自在な境智の確立という、いわゆる超時空間生命を開顕させる普遍



法への回帰といえるだろう。そこで得られるものは、心象に於ける悟りと現象に於ける潤いである。即ち、これからの茶道における展開として、相対的な意識空間を背景に構成されたこれまでのわびさび観に基づく茶道から、現在の先端科学が指向し証明している、超時空間生命に立脚した永遠の時の上に無遍に開かれ潤いゆく絶対的な意識空間を我がものとする茶之湯の世界を開拓していきたいと考えている。

そもそも利休居士等により果敢に挑み構築されてきた茶之湯の世界は、禅思想の現実化という命題のもとに展開され、深遠な思想体系を日常の生活文化へ取り込み、その主題をわびさびとして、人生に於ける機微を象徴化し茶道環境を彩どらせ、より高次元の人生へと導こうとしたものであった。それは茶室空間で扱う茶入れ、茶碗などの道具類にわびさびを代弁させることであり、長遠な時間の経過のもとに変容するさびた表情と、更に形が損なわれた空間の変化にみるわび—それは存在するものの時空内に限定された、哀れの境遇を表現し、自らの生命と同化せしめて常ならざる現実にあることを自覚させ、ここにある境涯を超越する道へと誘おうとする—即ち「色即ち是れ空なり」という般若心経にある禅語に表題させるように、全ての存在は縁があってここに顕在化したに過ぎず、縁が無くなれば無に帰す—故に良い意味で現象界に対する執着を捨て諦めまじょうと導くものであ

り、いわゆる無常観としての常ならざるを知る悟りである。

こうした茶道文化の取り組みを現代科学にあてがい強いて言わせていただくと、アインシュタインの提唱した相対性理論に共通する展開であるように考えられる。そこで蓮華院茶道としての取り組みは、こうした仏教禅の縁起思想を現実化した、わびさびによる無常観の手法を前提としながら、仏教のもう一翼である蓮華思想に軸足をおいた、いわゆる常住観による茶道文化の創造を目指している。その展開を一言で表明すると、わびさびに表現する時空の有限世界を彩る道具と、その対極にある永遠性と無遍性を代表させた道具を茶道空間へ並列し、主客によってそこに尽くされる蓮華思想、即ち蓮華がよって立つ泥池の汚泥を肥やしとして生きゆくところに全ての因果が肯定されるという、その普遍法に内在する超時空間生命へ共鳴する一念と対話、そして動作によってこの対極にある美学を共有させた絶対世界を涌現する—即ち心象界における揺るぎない安心と、現象界における無遍の潤いを我がものとする常住世界へ誘うものである。

まさに、現在の先端科学が証明する、超弦理論、一元性思考にみられるように、時間と空間の縛りを超えた生命の実相、こうした我々の命に本来備わる、自在に生きゆく境涯を開顕させる修法の一つとして提唱するものである。



私と趣味

「～地元愛～」

当法人評議員

たけうちクリニック院長 竹内正行

大学院で学ぶことをきっかけに早川先生と縁を頂くも、まもなく大学での研究を離れ臨床に戻り、呼吸器内科を専門とするクリニックを開業し23年が経過いたしました。人間

を直に感じ合える臨床医が自分には肌に合っていると思ったがための選択であったが、大学から離れアカデミックとは無縁の生活を送っていた私に早川先生から頂いた一本の電話

がライサの始まりでした。ジャンルを問わない幅広い分野との交流による生命活動というライサの趣旨に共感し、またそのおかげで多くの人脈を築くことができ人生の幅を広げられたと感謝しております。

普段クリニックでは子供から高齢者を幅広く診ているのですが仕事以外の余暇をどのように過ごしているかというところからもライサ同様多方面に出向いて楽しんでいます。

その一つは大須演芸場です。はじめは名古屋の伝統ある演芸場の存続の危機を救うため応援団として入会し観に行ったのが始まりですが、名古屋の落語家を中心とした地元の芸人さん達の熱意、話術に魅了されすっかり嵌ってしまいました。同時に東西の落語家、芸人が集結するというお得さはいかにも名古屋受けするセットです。新年は獅子舞や踊りが披露されるなど季節に応じた縁起物



意、話術に魅了されすっかり嵌ってしまいました。同時に東西の落語家、芸人が集結するというお得さはいかにも名古屋受けするセットです。新年は獅子舞や踊りが披露されるなど季節に応じた縁起物

を体験でき心身共にリフレッシュできます。芸能といえば御園座の歌舞伎は現在名古屋で観られる唯一ともいえる大きな劇場でこちらも地元応援団としては外せないスポットでもちろん友の会に入会しております。

名古屋といえば最近は弱いイメージが定着してしまっただ中日ドラゴンズですが地元応援団としては時間があればいつでも観戦できるシーズンシートを所有しており年間20試合くらいは現地観戦に出向いています。シーズンシートは毎年ほぼ同じ面々がそのエリアの席を所有しているため親戚の人のような間柄になっており行けば挨拶、勝てばハイタッチ、負ければ愚痴り合ってます。ビジター観戦も新幹線のおかげで日帰りでも西は広島、東は千葉までなら可能なため弾丸ツアーを執行する事もあります。はたして今年はどうな戦いを見せてくれるでしょう？



ライサ文化研究会 「俳句・川柳・短歌コーナー」

会員の皆様の作られた俳句・川柳・短歌を掲載しております。

<俳句>

作・セルラゴあい

日本の四季を五感で感じながら詠みました。

「梅雨の日に 心癒すは スマホ音」

「夏色の 熱田花火に 心舞う」

作・紹妙(じょうみょう)

私は瀬戸を旅し、冬枯れの中に佇む古都の残照と再生というこの二つが幾重の香りとなって漂うその気配を詠みたいと句を結びました。

「瀬戸川や 水面に光る 初氷」

「いにしえの 街を彩る 石だたみ」

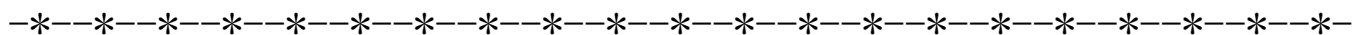
作・凡ジュール脱力派

新青年は、老年、高年者の意味です。
5万5千円の新型バットで、昨年は70m球場で
3本の柵越場外弾を打ちました。

「新青年 新型バット 場外弾」

東南アジア食料品店で、「タマリンド」という木の
の実を買いました。甘酸っぱくて、熟したプ
ルーンのように美味しいのですが、種が多く、し
かも強化プラスチックのように固くて、食べるの
が難儀でした。エンドウのような形状で、固い種
の周りにジャムのような可食部分があります。

「タマリンド種が多すぎたまらんど」



編集後記

今回の表紙絵は再び神田秀喜監事の伯父様
の作品よりいただきました。緑の中に光のト
ンネルが見え、その向こうに何か神々しさ
を感じてしまうような絵になっております。早
川理事長の年頭のご挨拶と新たに評議員にな
られた野々部先生のご挨拶に続きまして、ア
カデミア講座でご講演いただいた先生による
講演の要旨を掲載いたしました。また、山根
住職による哲学的なメッセージをぜひ頑張
って読んでいただきたいと思います。私と趣味

のコーナーでは、竹内先生が大須演芸場と中
日ドラゴンズに対する地元愛を語っておられ
ます。今回より、俳句・川柳・短歌のコーナ
ーを設けました。ペンネームを使っていただ
いて構いません（本名は載せません）のでど
なた様もどうぞ気軽にご投稿ください。最近
の傾向として、「五・七・五」に拘らず全体
で十七文字近辺とする俳句が受け入れられて
いるようです。

鈴木治彦

事務局だより

令和7年度総会（第12回定時総会・第13回理事会・評議員会）

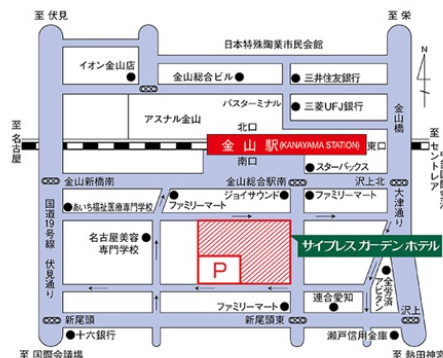
令和7年6月8日（日）午後3時～（受付は午後2時30分～）

サイプレスガーデンホテル
3階「葵」

第9回ライサアカデミア講座

令和7年10月12日（日）午後2時～

サイプレスガーデンホテル
3階「エスポワール」



一般社団法人 生命科学文化推進機構 事務局
E-mail office@liscicul.or.jp